

広

～真美ヶ丘第二小学校区～

陵町コミュニティカルテ

平成30年7月

# 真美ヶ丘第二小学校区

## 1. 区域

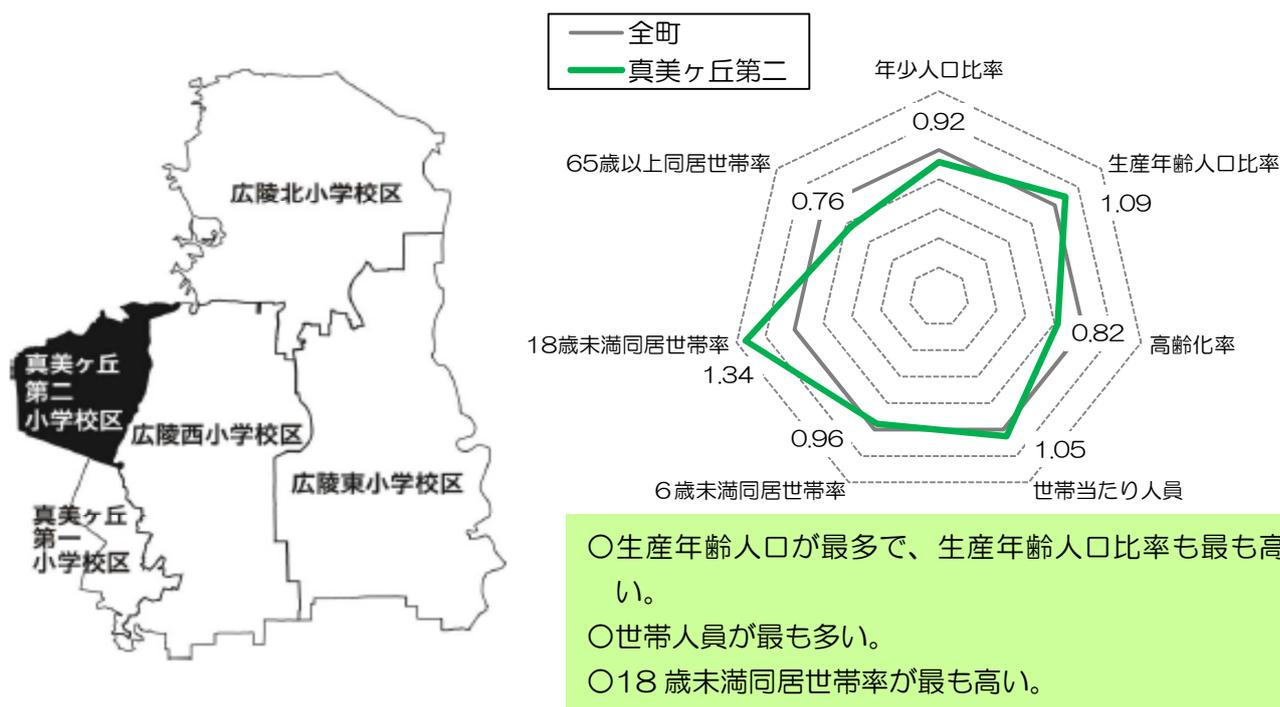
学校名	通学区域
真美ヶ丘第二小学校	三吉（町道上田部・奥鳥井線以北）・馬見北1丁目から9丁目・馬見中1丁目から5丁目

## 2. 主要統計指標（基準日：平成 29 年 12 月末日 ※同居世帯数（世帯率）は平成 25 年 9 月）

### ■真美ヶ丘第二小学校区

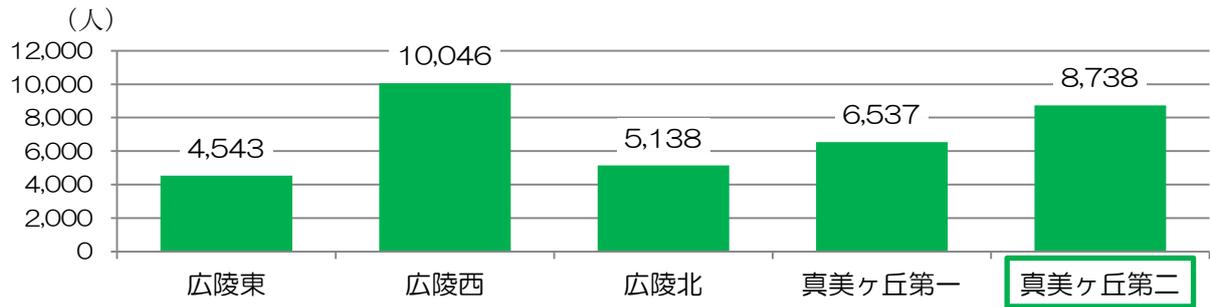
項目	真美ヶ丘第二	順位	全町
総人口	8,738 人	2	35,002 人
面積	1.4 km <sup>2</sup>	4	16.3 km <sup>2</sup>
人口密度	62.4 人/ha	2	21.5 人/ha
年少人口（0～14 歳）	1,203 人	2	5,247 人
生産年齢人口（15～64 歳）	5,785 人	2	21,232 人
老年人口（65 歳以上）	1,750 人	2	8,523 人
年少人口比率	13.8%	4	15.0%
生産年齢人口比率	66.2%	1	60.7%
高齢化率	20.0%	5	24.4%
世帯数	3,066 世帯	2	12,914 世帯
世帯当たり人員	2.85 人	1	2.71 人
6 歳未満同居世帯数 （世帯率）	337 世帯 (11.3%)	2 3	1,419 世帯 (11.8%)
18 歳未満同居世帯数 （世帯率）	958 世帯 (32.1%)	1 1	2,887 世帯 (23.9%)
65 歳以上同居世帯数 （世帯率）	949 世帯 (31.7%)	2 5	5,009 世帯 (41.5%)

### ■真美ヶ丘第二小学校区の水準（全町＝1とした指数）



### 3. 人口など

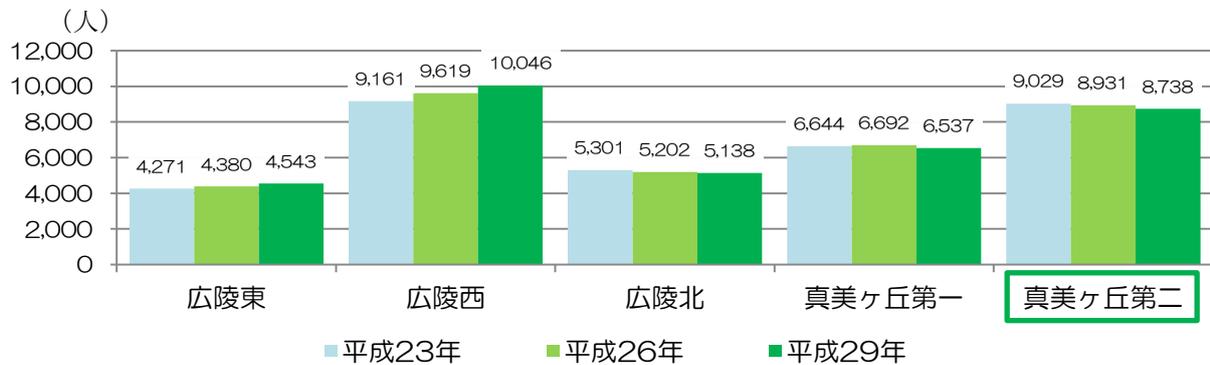
#### ■総人口



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

真美ヶ丘第二小学校区の人口は 8,738 人で、全小学校区中 2 番目となっている。

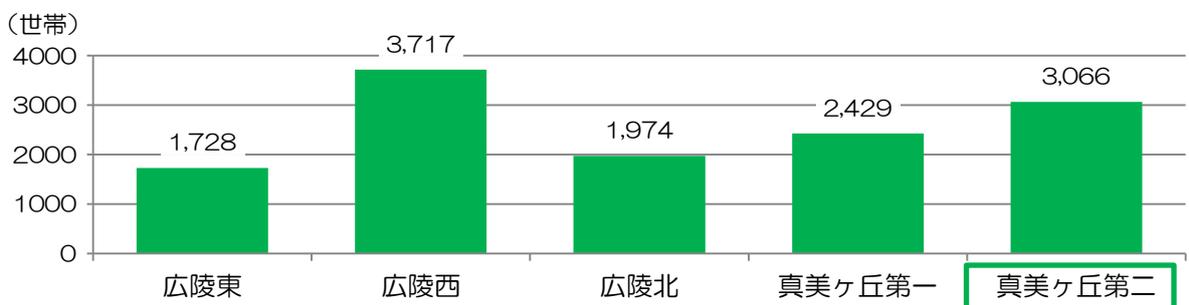
#### ■総人口の推移



資料：住民基本台帳（平成 23 年、平成 26 年、平成 29 年、各年 12 月末）

真美ヶ丘第二小学校区の人口は、平成 23 年から比較して 291 人の減少(3.2 ポイントの下降)となっている。

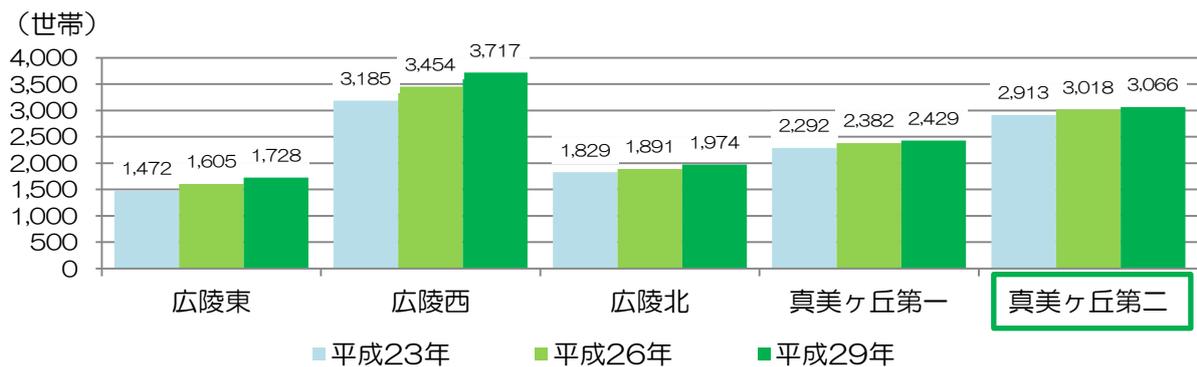
#### ■総世帯数



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

真美ヶ丘第二小学校区の総世帯数は 3,066 世帯で、全小学校区中 2 番目となっている。

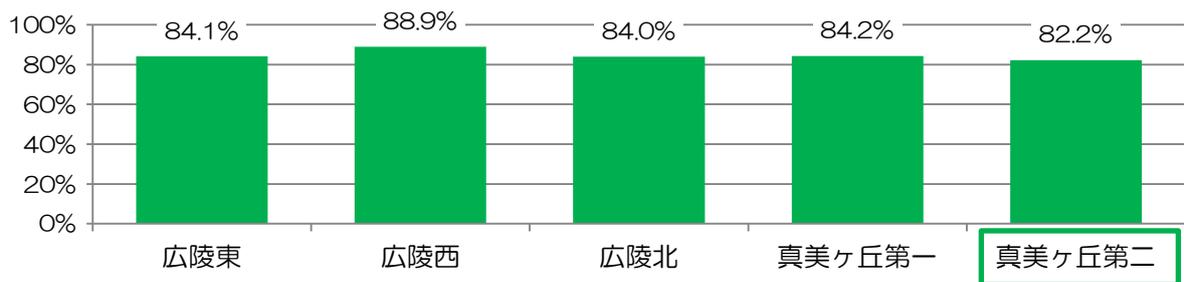
## ■総世帯数の推移



資料：住民基本台帳（平成23年、平成26年、平成29年、各年12月末）

真美ヶ丘第二小学校区の総世帯数は、平成23年から比較して153世帯の増加（5ポイントの上昇）となっている。

## ■自治会加入世帯割合



資料：区長・自治会長アンケート調査票（平成29年10月）

真美ヶ丘第二小学校区の自治会加入世帯割合は、82.2%で全小学校区中5番目となっている。

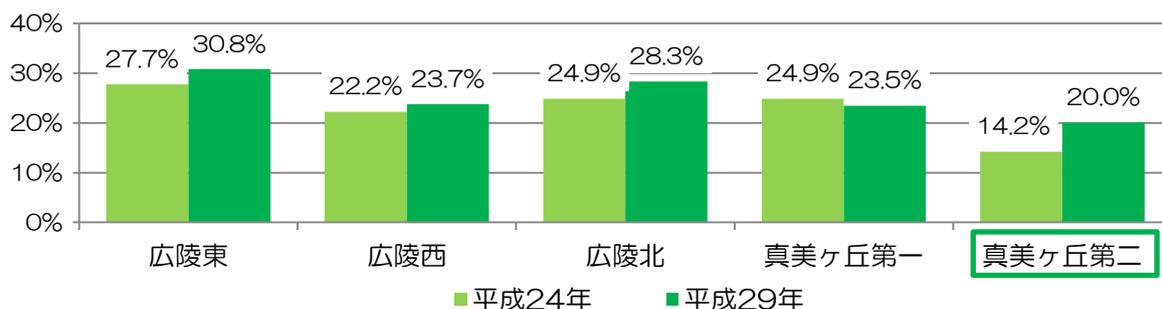
### ■年齢3区分人口構成比



資料：住民基本台帳（平成 29 年 12 月末）

真美ヶ丘第二小学校区の年齢3区分人口構成比は 0～14 歳人口が 13.8%で、全小学校区中 4 番目、15～64 歳人口が 66.2%で、全小学校区中 1 番目、65 歳以上人口は 20.0%で、全小学校区中 5 番目となっている。

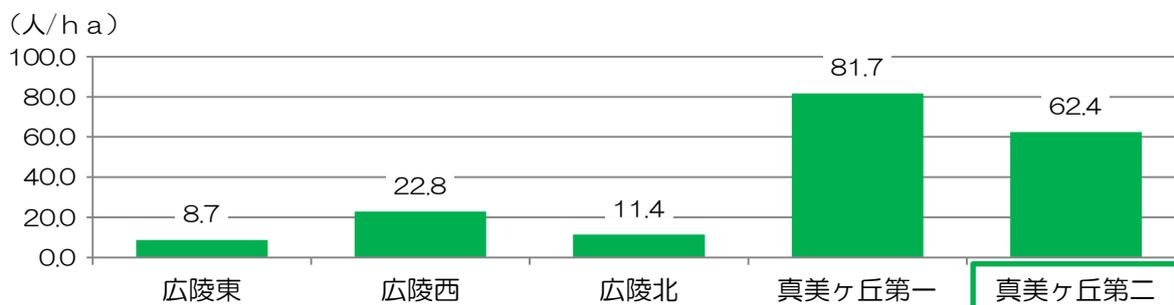
### ■高齢化率の推移



資料：住民基本台帳（平成 24 年、平成 29 年、各年 12 月末）

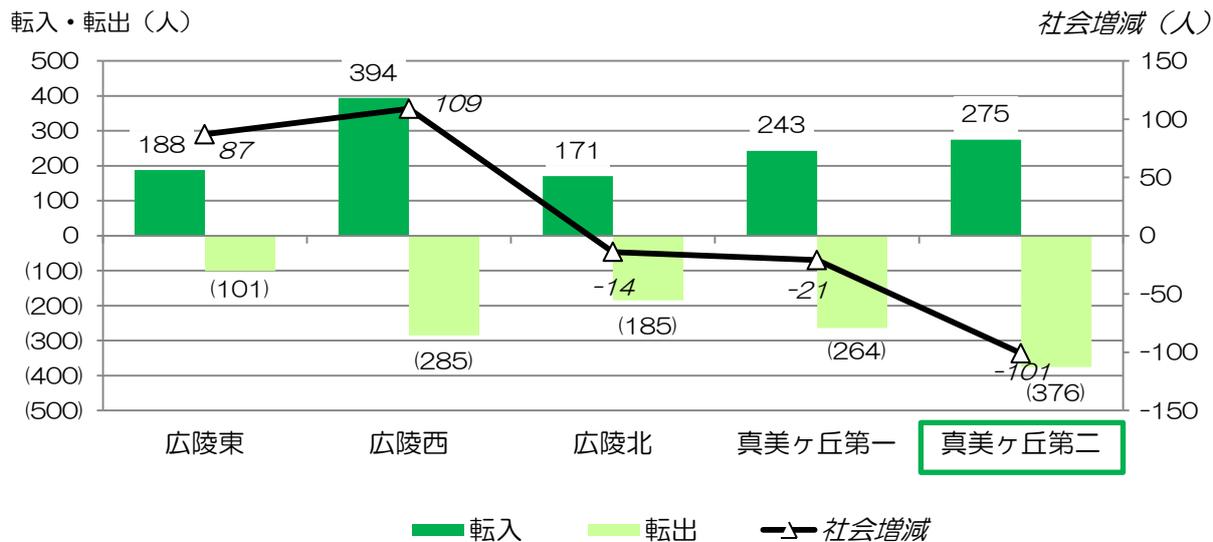
真美ヶ丘第二小学校区の高齢化率は、平成 24 年から比較して 5.8 ポイントの上昇となっている。

### ■人口密度



真美ヶ丘第二小学校区の人口密度は、全小学校区中 2 番目に高くなっている。

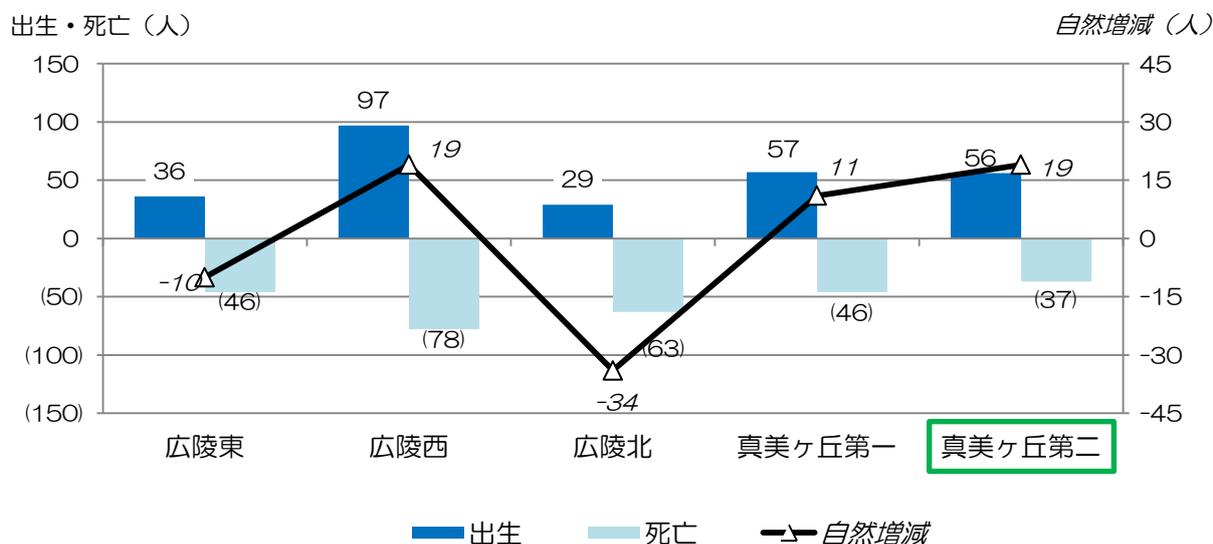
## 社会動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

真美ヶ丘第二小学校区の社会増減は、転入が 275 人、転出が 376 人となっており、101 人の社会減となっている。社会増減数は全小学校区中 5 番目となっている。

## 自然動態



資料：住民記録 増減表（平成 28 年度）

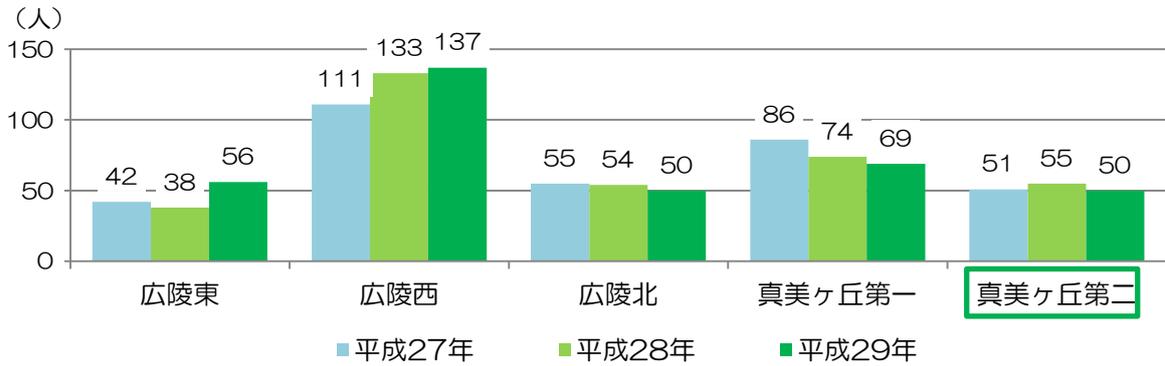
真美ヶ丘第二小学校区の自然増減は、出生が 56 人、死亡が 37 人となっており、19 人の自然増となっている。自然増減数は全小学校区中 1 番目となっている。

#### 4. 保育・教育

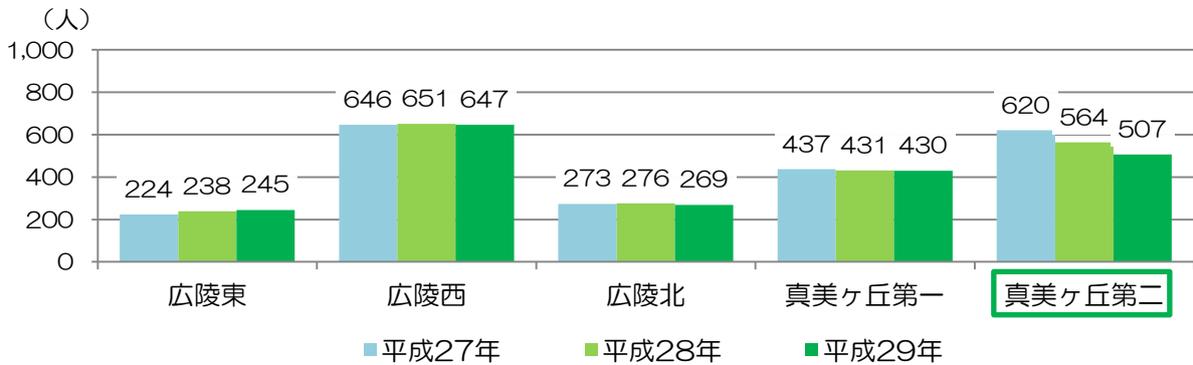
##### ■保育・教育機関等

種類	名称	所在地
保育園	真美北保育園	馬見北 5-13-3
幼稚園	真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園	馬見北 7-1-32
小学校	真美ヶ丘第二小学校	馬見北 7-1-32
中学校	真美ヶ丘中学校	馬見中 2-17-32
放課後子ども育成教室	もくせいクラブ（真美ヶ丘第二小学校内）	馬見北 7-1-32
放課後子ども育成教室	すぎのきクラブ（真美ヶ丘第二小学校内）	馬見北 7-1-32

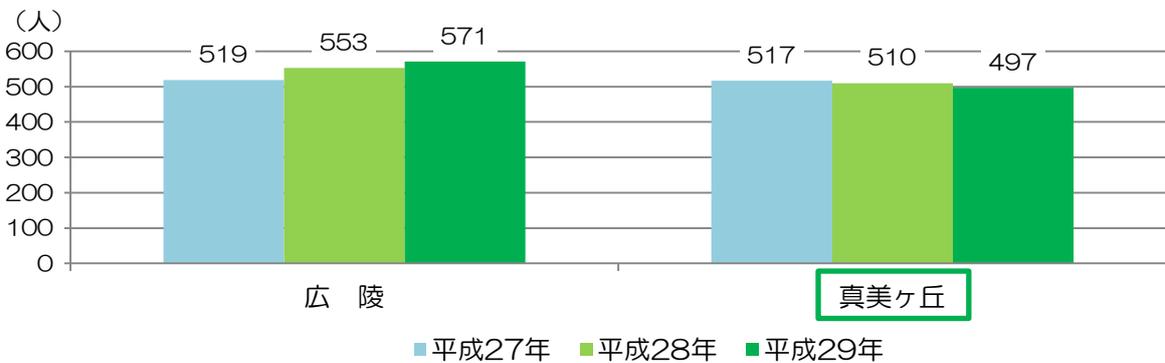
##### ■幼稚園園児数の推移



##### ■小学校児童数の推移



##### ■中学校生徒数の推移



資料：学校基本調査（各年5月1日）

## 5. 文化

### ■指定文化財

指定	区分	種別	名称	所有者	所在地
国	記念物	史跡	牧野古墳	広陵町	馬見北 8丁目

## 6. 公園・緑地

### ■公園等（指定緊急避難場所）

名称	所在地	水害	震災	火災
見立山公園	馬見中1丁目地内	○	○	○
横峯公園	馬見北6丁目地内	○	○	○
2号児童公園	馬見北4丁目地内	○	○	○
3号児童公園	馬見北9丁目地内	○	○	○
4号児童公園	馬見北3丁目地内	○	○	○
5号児童公園	馬見北1丁目地内	○	○	○
6号児童公園	馬見北2丁目地内	○	○	○
7号児童公園	馬見中5丁目地内	○	○	○
牧野史跡公園	馬見北8丁目地内	○	○	○
石ヶ谷古墳公園	馬見北7丁目地内	○	○	○
1号～7号緑地	馬見北5丁目～9丁目地内	○		

## 7. 防災

### ■指定避難所

名称	所在地	水害	震災	火災	耐震
真美ヶ丘第二小学校	馬見北 7-1-32	○	○	○	○
真美ヶ丘中学校	馬見中 2-17-32	○	○	○	○
真美ヶ丘体育館	馬見北 5-13-18	○	○	○	○

## 8. スポーツ

### ■体育施設

名称	所在地
見立山公園内グラウンド	馬見中1丁目地内
真美ヶ丘テニスコート	馬見中 3-1-3
真美ヶ丘体育館	馬見北 5-13-18

## 9. 医療

### ■医療機関・歯科医院

区分	名称	所在地
医療	真美ヶ丘クリニック	馬見北 2-6-1 4
医療	山下内科医院	馬見中 2-6-1 4
医療	藤井整形外科	馬見中 2-1 1-1 6
医療	まえのその医院	馬見北 8-7-8

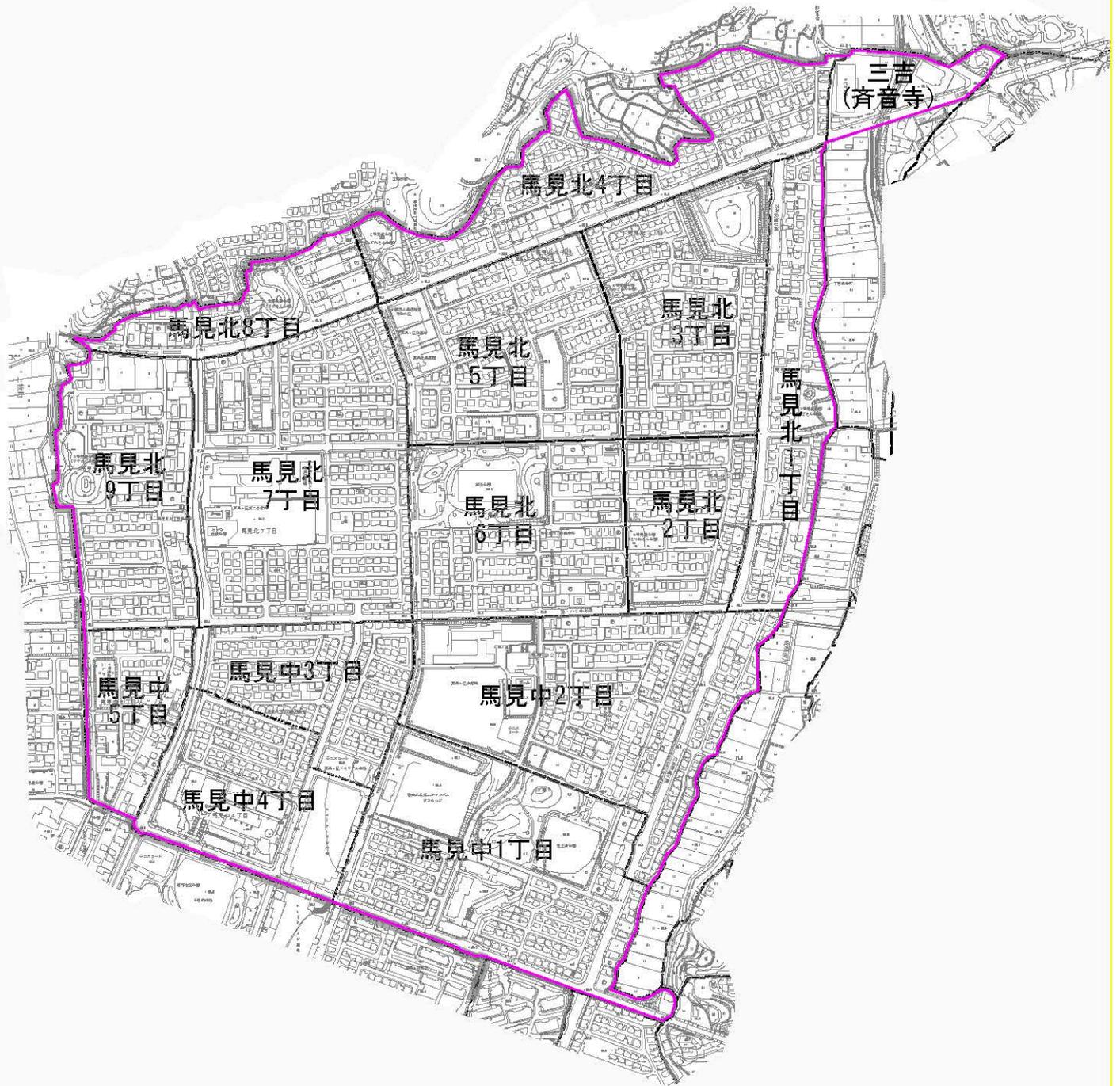
区分	名称	所在地
医療	いまづ小児科	馬見中5-6-37
医療	安川クリニック	馬見中5-1-12
医療	近藤クリニック真美ヶ丘腎センター	馬見北6-1-8
歯科	本間歯科	馬見中1-3-4
歯科	こむら歯科医院	馬見北6-11-16
歯科	よしおか歯科医院	馬見中2-16-35
歯科	岡部歯科医院	馬見北9-9-18

## 10. 介護・福祉

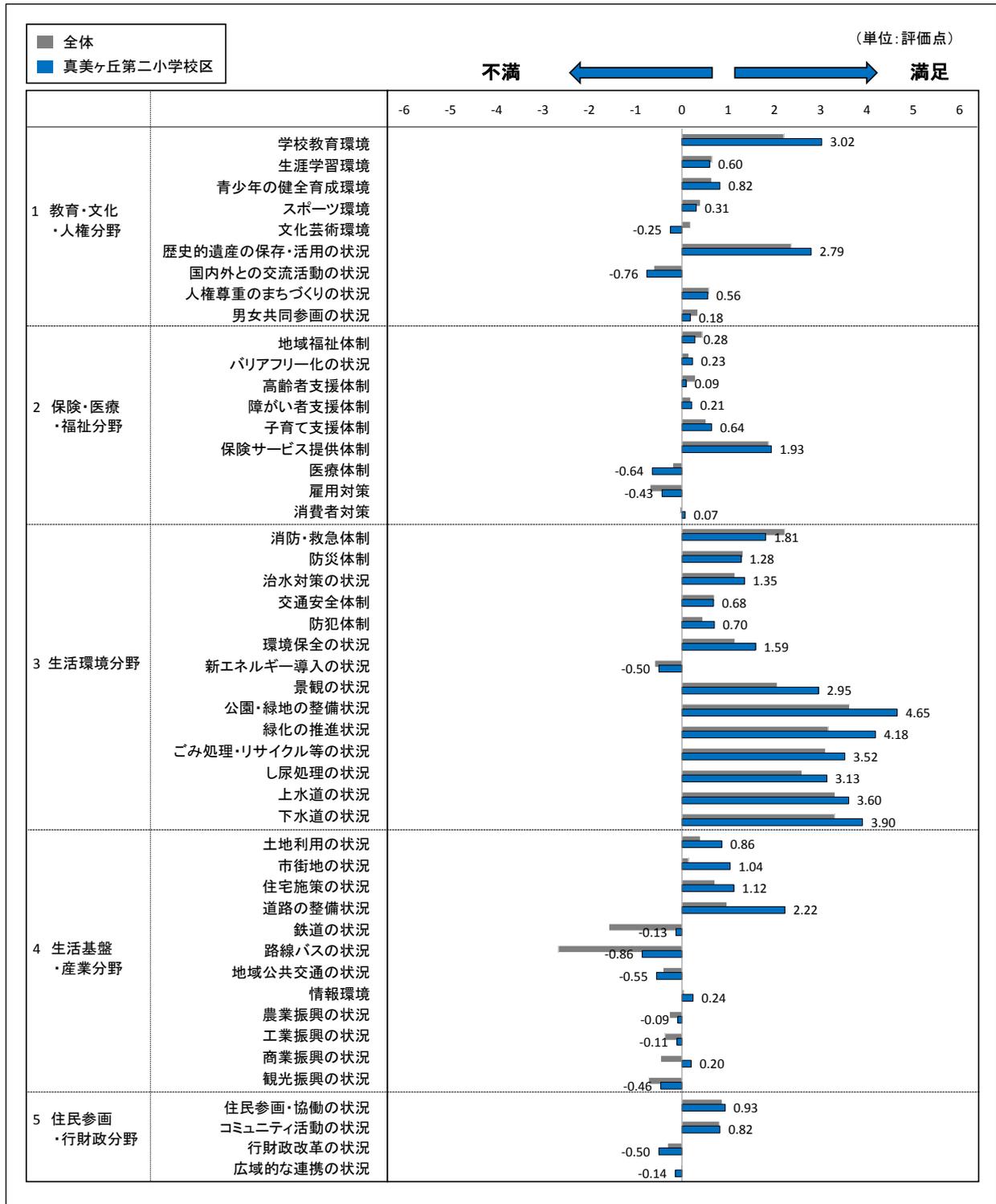
### ■事業所一覧

区分	名称	所在地
居宅介護支援（ケアマネ）	イオン馬見	馬見北4-5-17
訪問介護（ヘルパー）	在宅介護センター奈良	馬見北3-12-11
通所介護（デイサービス）	デイサービス真美ヶ丘	馬見北3-12-11
特定福祉用具販売	有限会社マホロバセンター	馬見北9-1-32
	ネーブルハウス奈良事業所	馬見北1-7-12
福祉用具貸与	有限会社マホロバセンター	馬見北9-1-32

# 真美ヶ丘第二小学校区マップ



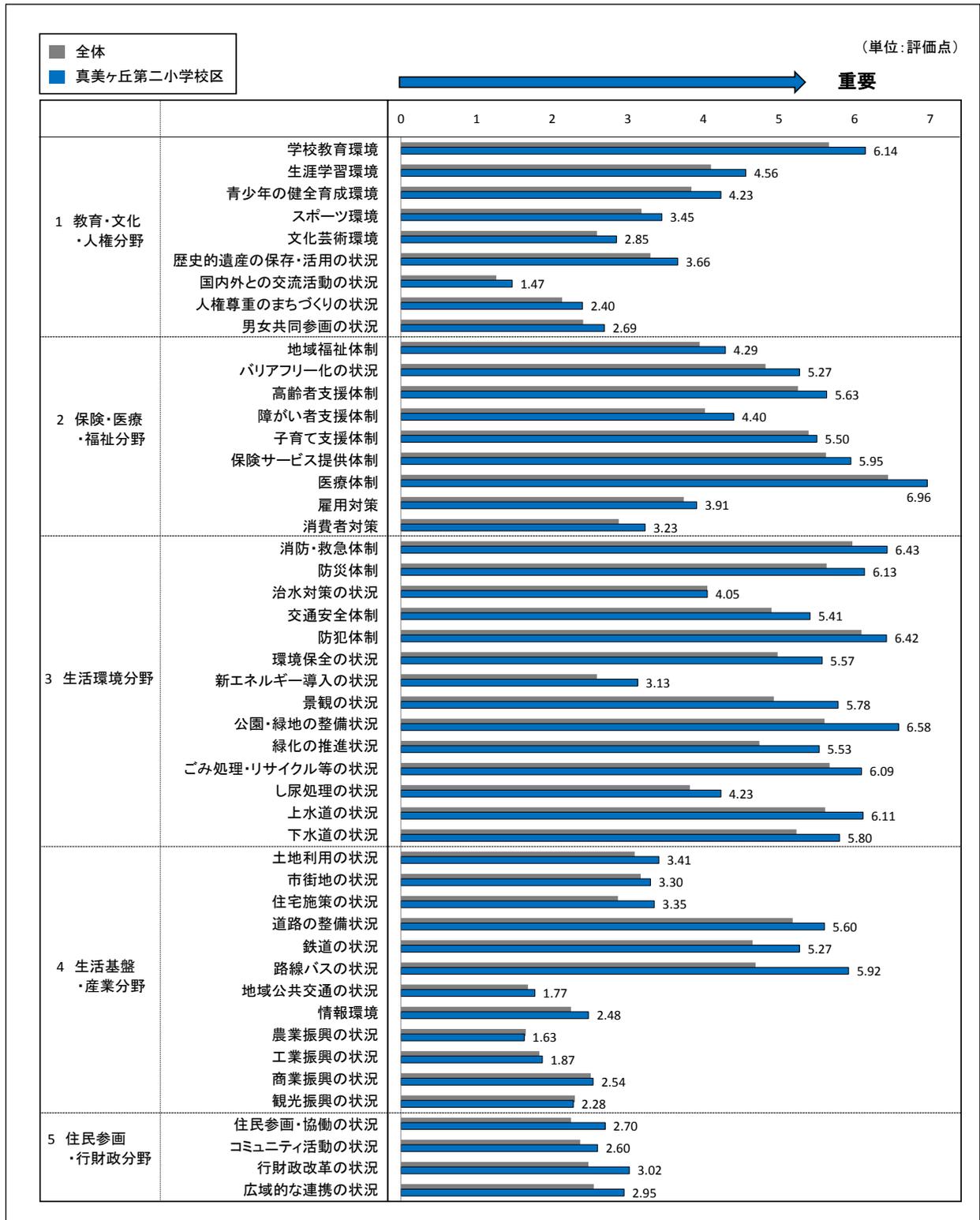
# 11. 現状に対する「満足度」(アンケート結果から)



各分野における現状の満足度について、真美ヶ丘第二小学校区の上位3項目は、「公園・緑地の整備状況」が4.65点と最も高く、次いで、「緑化の推進状況」が4.18点、「下水道の状況」が3.90点となっている。

下位3項目は、「路線バスの状況」が-0.86点と最も低く、次いで、「国内外との交流活動の状況」が-0.76点、「医療体制」が-0.64点となっている。

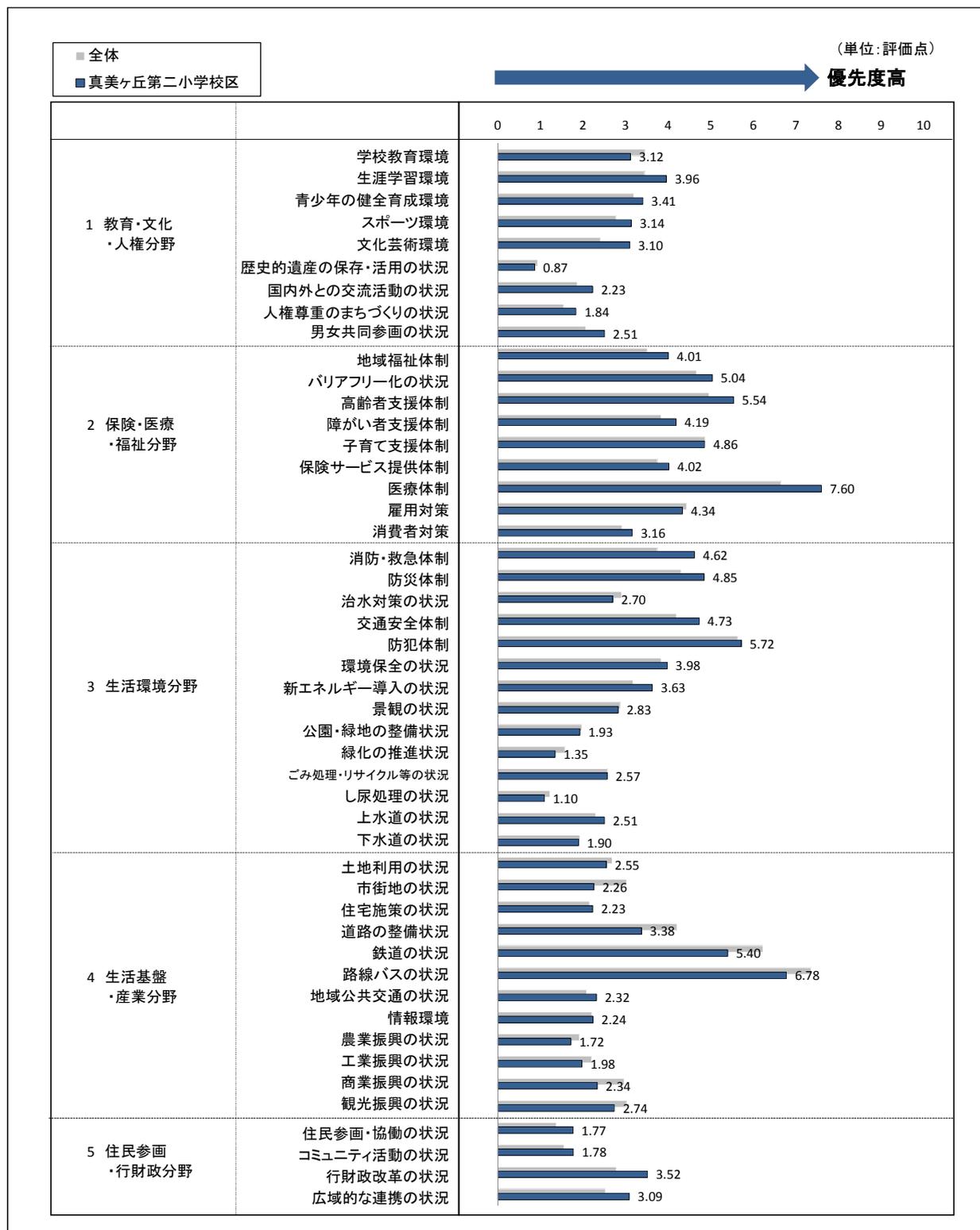
## 12. 今後の取り組みに対する「重要度」(アンケート結果から)



各分野の今後の取り組みに対する重要度について、真美ヶ丘第二小学校区の上位3項目は、「医療体制」が6.96点と最も高く、次いで、「公園・緑地の整備状況」が6.58点、「消防・救急体制」が6.43点となっている。

下位3項目は、「国内外との交流活動の状況」が1.47点と最も低く、次いで、「農業振興の状況」が1.63点、「地域公共交通の状況」が1.77点となっている。

### 13. 優先度<重要度評価－満足度評価>（アンケート結果から）



優先度について、真美ヶ丘第二小学校区の上位3項目は、「医療体制」が7.60点と最も高く、全体を上回っている。次いで、「路線バスの状況」が6.78点、「防犯体制」が5.72点となっている。続いて、「高齢者支援体制」が5.54点、「鉄道の状況」が5.40点となっている。

※11. 現状に対する「満足度」、12. 今後の取り組みに対する「重要度」、13. 「優先度」<重要度評価－満足度評価> の評価点については、平成27年8月実施のアンケート調査において、広陵町の各環境について、教育・文化・人権分野、保健・医療・福祉分野、生活環境分野、生活基盤・産業分野、住民参画・行財政分野の5分野48項目を設定し、項目ごとに5段階で評価してもらい、その結果を加重平均値による数量化で評価点（最高点10点、中間点0点、最低点－10点）を算出した。その詳細については下記のとおり。

※加重平均値（満足度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（満足度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「満足している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば満足している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらかといえば不満である」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「不満である」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「満足している」、「どちらかとい} \\ \text{えば満足している」、「どちら} \\ \text{ともいえない」、「どちらかとい} \\ \text{えば不満である」、「不満であ} \\ \text{る」の回答者数} \end{array}}$$

この算出方法により、評価点(満足度)は10点～－10点の間に分布し、中間点の0点を境に、10点に近くなるほど評価は高いと考えられ、逆に－10点に近くなるほど評価が低いと考えられる。

※加重平均値（重要度）の算出方法

5段階の評価にそれぞれ点数を与え、評価点（重要度）を算出する。

$$\text{評価点} = \frac{\begin{array}{l} \text{「重視している」の回答者数} \times 10 \text{ 点} \\ + \\ \text{「やや重視している」の回答者数} \times 5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「どちらともいえない」の回答者数} \times 0 \text{ 点} \\ + \\ \text{「あまり重視していない」の回答者数} \times -5 \text{ 点} \\ + \\ \text{「重視していない」の回答者数} \times -10 \text{ 点} \end{array}}{\begin{array}{l} \text{「重視している」、「やや重視し} \\ \text{ている」、「どちらともいえない} \\ \text{」、「あまり重視していない」、} \\ \text{「重視していない」の回答者数} \end{array}}$$

※優先度の算出方法

各項目の重要度（加重平均値）から満足度（加重平均値）を減算して算出する。

$$\text{優先度} = \left[ \text{重要度（加重平均値）} \right] - \left[ \text{満足度（加重平均値）} \right]$$

## 14. まちへの愛着度（アンケート結果から）

### ■まちへの愛着：広陵町に対して「自分のまち」としての愛着をどの程度感じているか

上段：人 下段：%	合計	とても愛着を感じている	どちらかという と愛着を感じている	どちらともい えない	あまり愛着を 感じていない	愛着を感じて いない	無回答
全体	985	245	479	186	55	14	6
	100.0	24.9	48.6	18.9	5.6	1.4	0.6
広陵東	116	36	52	16	8	1	3
	100.0	31.0	44.8	13.8	6.9	0.9	2.6
広陵西	231	65	108	44	9	5	-
	100.0	28.1	46.8	19.0	3.9	2.2	-
広陵北	141	38	65	25	11	1	1
	100.0	27.0	46.1	17.7	7.8	0.7	0.7
真美ヶ丘第一	208	43	102	45	15	3	-
	100.0	20.7	49.0	21.6	7.2	1.4	-
真美ヶ丘第二	286	62	151	56	12	4	1
	100.0	21.7	52.8	19.6	4.2	1.4	0.3

真美ヶ丘第二小学校区の定住意向は、「とても愛着を感じている」、「どちらかという  
と愛着を感じている」が合計74.5%となっており、「あまり愛着を感じていない」、「愛着を感じていない」の  
合計5.6%を大きく上回っている。

## 15. 定住意向

### ■定住意向：これからも広陵町に住みたいか

上段：人 下段：%	合計	住みたい	どちらかとい えば住みたい	どちらともい えない	どちらかとい えば住みた くない	住みた くない (できれば引 越したい)	無回答
全体	985	428	307	178	54	14	4
	100.0	43.5	31.2	18.1	5.5	1.4	0.4
広陵東	116	53	31	17	10	4	1
	100.0	45.7	26.7	14.7	8.6	3.4	0.9
広陵西	231	108	57	50	13	2	1
	100.0	46.8	24.7	21.6	5.6	0.9	0.4
広陵北	141	62	37	25	15	2	-
	100.0	44.0	26.2	17.7	10.6	1.4	-
真美ヶ丘第一	208	88	72	38	7	2	1
	100.0	42.3	34.6	18.3	3.4	1.0	0.5
真美ヶ丘第二	286	115	110	48	9	4	-
	100.0	40.2	38.5	16.8	3.1	1.4	-

真美ヶ丘第二小学校区の定住意向は、「住みたい」、「どちらかとい  
えば住みたい」が合計78.7%となっており、「どちらかとい  
えば住みた  
くない」、「住みた  
くない（できれば引  
越したい）」の合計  
4.5%を大きく上回っている。

## 16. まちの魅力

### ■広陵町の魅力（上位5位）：広陵町はどのようなところが魅力か

	全体	真美ヶ丘第二
第1位	自然環境が豊かである	自然環境が豊かである
第2位	買物の便がよい	買物の便がよい
第3位	上・下水道やごみ処理施設などの生活環境施設が整っている	道路・交通の便がよい
第4位	歴史的遺産が多い	歴史的遺産が多い
第5位	道路・交通の便がよい	子育て・教育環境が整っている

## 17. 住民参加のまちづくりについて（各自治会の役員などへのヒアリング結果から）

### ① 地域の防犯活動（子どもの見守り活動、地域パトロールなど）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見北1丁目	○登校時間帯に自治会役員及び有志が通学路において立哨を実施
馬見北2丁目	○通学時間に立哨を実施
馬見北3丁目	○通学時間はPTA(輪番)が交差点で、下校時は民生委員が任意で立哨を実施 ○自治会として立哨は未実施
馬見北4丁目	○通学時間に自治会員の輪番で立哨を実施 ○歳末夜回りや防犯灯点検の実施
馬見北5丁目	○通学時間は自治会員が立哨(4~6月)、下校時はボランティアが立哨を実施
馬見北6丁目	○通学時はPTA(輪番)や自治会員が立哨と見守りを、下校時は老人会等ボランティアが見守りを実施
馬見北7丁目	○地域の防犯活動は未実施(ボランティアが引退のため)
馬見北9丁目	○香芝警察との連携による防犯シートの全戸配布(約8割が掲出)及び集会所周辺への幟の掲出 ○登校時の立哨活動(年2回)
馬見中1丁目	○通学時間は老人会有志で見守りを実施 ○OPTAからの割当てにより、子どもがいる保護者が輪番で立哨を実施
馬見中2丁目	○登下校時に自治会で見守りを実施
馬見中3丁目	○OPTAからの割当てにより、子どもがいる保護者が輪番で立哨を実施 ○自治会として立哨は未実施
馬見中5丁目	○地域の防犯活動は未実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 5</li> <li>■ 行政 4</li> <li>■ NPOなど 0</li> <li>■ その他 3</li> </ul>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b> ○子どもの顔が分かるという意味で身近な人が良い。</p> <p><b>「行政」を選択した理由</b> ○現実的に行政の職員が実施することは無理であることは理解しているが、やるべきことを行政が発案し、もっと積極的に実施依頼すればいいと思う。労働人口は参加が難しいが、高齢者は比較的時間にゆとりがある。自由な時間がある人で組織すればいいのでは。 ○実働は地域に任せても、行政が画一的に実施することが望ましい。 ○地域の防犯活動は、自治会も高齢化しているので、行政が主体となって、地域と協働して進めてほしい。 ○主に役員のみで活動しているため、自治会として取り組むことが困難であるため。</p>
<p>協働の必要性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ある 11</li> <li>■ ない 1</li> </ul>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> <input type="checkbox"/> 自治会 6  <input type="checkbox"/> 行政 5  <input type="checkbox"/> NPOなど 1  <input type="checkbox"/> その他 5 </p>	<p><b>「その他」を選択した理由</b></p> <p>○自治会内には中心となれる団体がない。</p> <p>○防犯は個々の顔を知っている必要がある。</p> <p>○地域住民全員が意識する必要がある。</p>

地域の防犯活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」、「その他」の順となっている。「その他」では、「PTA」や「地域全体」が上げられている。

協働の必要性は「ある」が多く、92%が選んでいる。

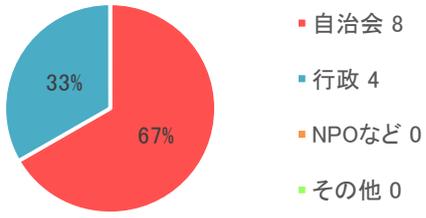
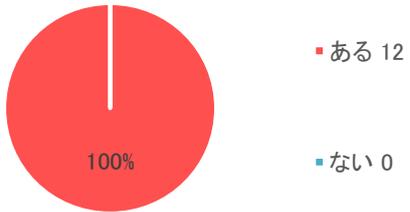
協働すべき団体は、「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」及び「その他」が同数、「NPOなど」の順となっている。「その他」では、「学校」や「PTA」があげられている。

#### ■自由意見

- 防犯について町の所管が曖昧。はっきりさせてほしい。
- 実施者がもっと一目で分かるようでない子ども達は不安がる。(ウィンドブレーカー、タスキ、腕章などの着用)
- 交通対策協議会の役割及び活動内容の周知不足。
- 一斉下校日など、取り組みをすることで活動する。運用面で事項はある。
- 行政だけでは限界があることは承知している。
- 取組事例を提示してほしい。
- OPTA や老人会などの話も聞いてあげてほしい。
- 子どもの見守りはシニア世代がしても良いとは思っている。
- 将来的に、子どもの数が減少してきた際は自治会としても協力しなければならないかと思っている。

② 地域の防災活動（消防訓練、防災組織の設置など）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見北1丁目	○自主防災組織を編成し、防災訓練(年1回)と共に防災備品の点検(年1回)を実施 ○小学校区の防災訓練に参加
馬見北2丁目	○自主防災組織で活動を実施し、奈良県防災功労者知事表彰を受賞 ○防災訓練(年2回)や防災倉庫の定期的な点検の実施
馬見北3丁目	○自治会で消防訓練などを実施
馬見北4丁目	○小学校区の防災訓練に参加 ○自主防災組織がないため、自治会内に防災部を設立(活動実績なし)
馬見北5丁目	○小学校区の防災訓練に参加 ○防災士資格取得のための受験料を自治会で負担することで育成の促進を検討中 ○公共の消火器を各班に1~2本設置
馬見北6丁目	○小学校区の防災訓練に参加 ○自主防災会で防災訓練など実施
馬見北7丁目	○小学校区の防災訓練に参加
馬見北9丁目	○自主防災会による炊き出し訓練及び講師を招いた講演会、防災計画の実施
馬見中1丁目	○集会所防火管理者を定め、年2回消防訓練を実施 ○自主防災会を結成し、自治会役員とサポート隊(ボランティア)による活動を実施
馬見中2丁目	○自治会の役員が地域の防災員を兼務し防災訓練を実施(年1回)
馬見中3丁目	○自治会館での消防訓練を実施(年2回) ○自主防災組織(自治会役員と同一の構成)で防災倉庫の管理を実施 ○小学校区の防災訓練に参加
馬見中5丁目	○防災倉庫を設置し、災害時のために備品などを備蓄の推進

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 8</li> <li>■ 行政 4</li> <li>■ NPOなど 0</li> <li>■ その他 0</li> </ul>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災組織があるため、自治会が主体となるべきと考える。</li> <li>○自治会が主体となるべきだが、行政のアドバイスが必要。</li> <li>○主体は自治会だが行政から呼びかけをしてもらいたい。</li> <li>○近隣自治会の助け合いが必要ではないかと思う。</li> <li>○自治会として、中心的に取り組む意識はあるが、毎年、自治会の役員が全員交代するため、主体的に取り組むことが難しいのが現状である。このため、今後も行政が企画した防災訓練等と連携して取り組んでいきたい。</li> </ul> <p><b>「行政」を選択した理由</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自主防災組織がないので、役場主導でお願いしたい。</li> <li>○自治会会員の高齢化により、計画的または速やかな取り組みが困難な場合、主導するのは行政が望ましいため。</li> </ul>
<p>協働の必要性</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ある 12</li> <li>■ ない 0</li> </ul>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> <input type="checkbox"/> 自治会 4  <input type="checkbox"/> 行政 8  <input type="checkbox"/> NPOなど 1  <input type="checkbox"/> その他 0 </p>	<p>○地域の防災活動同様、防災活動についても行政と自治会、お互いの協働が必要となってくる。</p> <p><b>「その他」を選択した理由</b></p> <p>○自治会内には中心となれる団体がない。  ○防犯は個々の顔を知っている必要がある。  ○地域住民全員が意識する必要がある。</p>

地域の防災活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性はすべての地域が「ある」を選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」、「NPOなど」の順となっている。

■自由意見
<p>○役員が1年ごとになってしまうため、継続性に欠ける。</p> <p>○行政からも何をすべきなのか、地域に何を求めるのか、提案してほしい。</p> <p>○他府県の取り組みや防災士の資格取得助成などの情報提供して欲しい。</p> <p>○自主防災組織を複数年任期にしていきたい。</p> <p>○防災倉庫の備蓄品が今年度中に賞味期限切れになりそうだが、どうしたらいいかわからない。防災倉庫は数年前に設置されたが、管理ができていないし、防災に関する引き継ぎが全くできていない。</p> <p>○行政と関わり、行政から積極的に誘いがけをして、AEDの講習会なども積極的にアピールがあれば参加するのでは。</p> <p>○自治会の独自の自主防災活動の推進。ただし、将来は独自の独立した有志の組織にすべき。</p> <p>○自主防災組織の立ち上げについては、白紙状態。</p> <p>○自主防災会が主体となり、高齢世帯に対して、軽作業等を有償で支援する活動を開始予定であるが、ゆくゆくは自治会が主体になればと思う。</p> <p>○役員は全員仕事をしており、平日に何かあっても、防災活動は機能しないように思う。日中、家にいる方も男女問わず参加した方が良いように思う。</p> <p>○自治会が大きくなったため、誰かがするだろうと、人任せになっているように思う。</p> <p>○現在、自治会の役員が中心的に取り組んでいるが、それは防災組織員にならざるを得ない状況であるため。しかし、防災という観点からすれば、メンバーがある程度固定化される方が望ましい。当自治会は年単位で役員が変わるため、他の地区でもあるように、自治会とは別の自主的な防災組織を作った方が良いかもしれない。</p>

### ③ 地域の清掃や美化活動（クリーンキャンペーン、つゆはりなど）に関する考え方

■ 地域活動の現状	
馬見北1丁目	○全自治会員による清掃活動(年2回)を実施
馬見北2丁目	○自治会で清掃活動を実施(年2回、空き家が減り、草刈りなどの負担は軽減された)
馬見北3丁目	○自治会で清掃活動を実施(年4回、9月は町主催のクリーンキャンペーンに合わせ実施)
馬見北4丁目	○自治会で清掃活動を実施(年2回、土砂はシルバーに依頼)
馬見北5丁目	○町主催のクリーンキャンペーンに合わせ清掃活動を実施(年2回、土嚢袋が不足し自治会で購入している)
馬見北6丁目	○町主催のクリーンキャンペーンに合わせ自治会で地域及び公園の清掃活動を実施(年2回)
馬見北7丁目	○自治会で清掃活動を実施(年2回、9月は町主催のクリーンキャンペーンに合わせ実施)
馬見北9丁目	○自治会で清掃活動を実施(年1回) ○集会所は定期的(1~2か月に1回)に清掃を実施
馬見中1丁目	○自治会で清掃活動を実施(年2回)
馬見中2丁目	○自治会主体で清掃活動(年1回)や、町主催のクリーンキャンペーンに合わせ清掃活動を実施
馬見中3丁目	○自治会で清掃活動を実施(年2回、会員の多くが協力的に参加)
馬見中5丁目	○自治会で清掃活動を実施(年2回、公園は行政により実施)

■ 活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> <span style="color: red;">■</span> 自治会 11  <span style="color: blue;">■</span> 行政 1  <span style="color: orange;">■</span> NPOなど 0  <span style="color: green;">■</span> その他 0         </p>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b></p> <p>○個人個人での取り組みが中心となっているため、自治会が主体であるべきと考える。</p> <p>○自治会独自でやるべきだが、調整池などの除草作業は町、県にしっかりと実施してもらいたい。</p> <p>○自治会が中心となってやるべきだが、大量の土砂や落ち葉など行政の力を借りないと処理できない問題がある。</p> <p>○自治会員が集まり、作業することによって、輪が繋がっていく。</p> <p>○クリーンキャンペーンの実施が定着しており、清掃や美化活動は自治会が中心となって取り組むべきと考えるため。</p> <p>○地域の清掃活動などについては、自治会の恒例行事となっており、また、住民一人ひとりが、住んでいる地域をきれいに保とうという意識が高いため。</p>
協働の必要性	
<p> <span style="color: red;">■</span> ある 8  <span style="color: blue;">■</span> ない 4         </p>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> <input type="checkbox"/> 自治会 1  <input checked="" type="checkbox"/> 行政 7  <input type="checkbox"/> NPOなど 0  <input type="checkbox"/> その他 0 </p>	<p><b>「行政」を選択した理由</b></p> <p>○公園や道路の植え込みなど、自治会でどこまで行ったらいいのか指導してほしい。</p>

地域の清掃や美化活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性は「ある」が多く、67%が選んでいる。

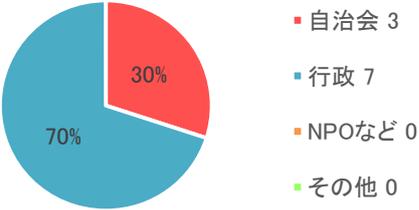
協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」となっている。

■自由意見
<p>○空き地の雑草処理を役場がすぐにしてくれるので助かっている。</p> <p>○落ち葉が溜まる場所があるので、行政(道路管理者)の力を借りたい。</p> <p>○空き家の草が伸び放題になっているので、自治会から情報提供があれば、行政から持ち主に連絡してほしい。</p> <p>○横峰近隣公園は、隣接する自治会すべてで清掃を実施してもよいのではないか。</p> <p>○自治会の清掃は和気あいあいとしている。</p> <p>○これまでどおり、ごみの回収などは役場をお願いしたい。</p>

#### ④ 公園や集会所などの維持管理に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見北1丁目	○集会所は自治会役員による清掃(年2回)を実施 ○集会所消防設備等の点検を防火管理者が実施
馬見北2丁目	○集会所は毎月清掃するなど維持管理を実施 ○回収費用の積み立てを実施(月300円のうち150円) ○公園の樹木の剪定は町が実施
馬見北3丁目	○集会所は2か月に1回、シルバーに清掃作業を委託
馬見北4丁目	○集会所の管理は自治会で実施(草刈りなど) ○公園の管理は町で実施(シルバーが草刈り)
馬見北5丁目	○月1回の清掃を自治会からシルバーに依頼し実施
馬見北6丁目	○集会所清掃は毎月1回、シルバーに委託し実施 ○公園の維持管理は町で実施されているが、範囲や頻度が不十分である
馬見北7丁目	○集会所は自治会、公園は町が維持管理(維持管理の範囲、担当が不明瞭)
馬見北9丁目	○行政による植え込みの手入れ(年1回)や、草刈り(年4回程度) ○自治会による集会所清掃(1~2か月に1回)
馬見中1丁目	○集会所は自治会が管理(年1回大掃除)、公園は町が維持管理 ○馬見中1丁目広場については規定を設け、自治会にて管理
馬見中2丁目	○自治会内に公園はないが、集会所は自治会で管理を実施
馬見中3丁目	○自治会内に公園はないが、テニスコートとその駐車場は町が管理 ○自治会館の日常の維持管理は自治会で実施
馬見中5丁目	○集会所は自治会役員が、清掃や維持管理を実施 ○公園は清掃活動を実施(年2回)、草刈りなどはシルバー人材センターが実施

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> <span style="color: red;">■</span> 自治会 9  <span style="color: blue;">■</span> 行政 5  <span style="color: orange;">■</span> NPOなど 0  <span style="color: green;">■</span> その他 0         </p>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b></p> <p>○集会所は役員の活動や会員のサークル活動に使用しており、管理は自治会で行っているため。</p> <p>○町がすべきこともあるが、主に自治会に対応しているため。</p> <p>○現状維持で良いため。</p> <p>○公園は公のものなので、役場が維持管理することが基本。</p> <p>○自治会員の高齢化により自主的な公園の維持管理等が困難であるため。</p>
<p>協働の必要性</p> <p> <span style="color: red;">■</span> ある 10  <span style="color: blue;">■</span> ない 2         </p>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
	<p><b>「自治会」、「行政」を複数選択した理由</b></p> <p>○特に問題がないので、これからも集会所は自治会、公園は役場が管理してもらいたい。</p> <p>○公園は行政、集会所は自治会と役割が分かれており、協働の必要性は感じない。</p>

公園や集会所などの維持管理に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。(2 地域で複数回答あり)

協働の必要性は「ある」が多く、83%が選んでいる。

協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」となっている。

#### ■自由意見

○公園の管理が難しい。ボール遊びなどを制限すると、公園で遊ぶ子どもが減ってしまう。その結果、草などが伸びてしまい、さらに人が寄りつかなくなるという悪循環に陥ってしまう。

○運動器具などの遊具を公園に入れることはできないだろうか。

○夏になると公園の会所に蚊が大量発生する。会所に薬を入れるなどなんとかしてほしい。

○公園管理については、周辺自治会の要望を参考にして全体的な視野に立って行政が行って欲しい。

○前回の台風時にグリーンベルトの枝が折れて散乱したり、葉っぱが各家庭の樋に詰まったりして大変だった。木が多すぎるため、間引くなり、切るなり対応を考えてほしい。管理は行政でも、落ち葉の清掃などは住民が対応している。

○公園の雑草について、夏場は特に草の伸びが早く、刈ってもすぐに膝丈まで成長するため、6～8 月は毎月行政に草刈りを依頼したい。その代わりに、10～3 月は殆どしてもらわなくてもよい。

○住民でできることは精一杯しているが、維持管理に必要な道具などの支援を行政でもってほしい。

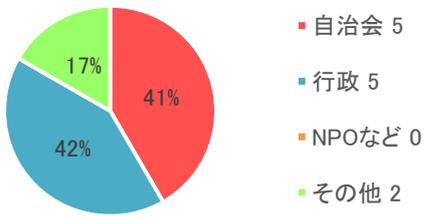
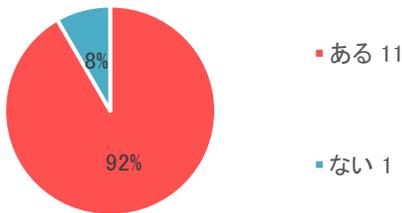
○公園の駐車場に夜間も勝手に駐車する人がいる。自治会から注意はしていないが、本来なら時間が来たらチェーンをかけて出せないようにすべきだが、それをすると路上駐車が増えるかもしれないので、解決策がない。

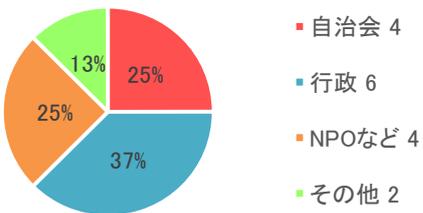
○自治会館について、大きな改修などは役場と連携して行っていきたい。

○公園の利用者は自治会員の人も、香芝市の住民が利用していることが多く、ごみを放置して帰ることがある。

⑤ 高齢者などを対象とした福祉活動（見守り・声掛け活動、サロン活動等の集いの場の提供など）に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見北1丁目	○くれたけ会(旧老人会)が、定期的にビデオ鑑賞及び俳句会(月1回)を実施
馬見北2丁目	○KEEPによる介護予防を中心とした、いきいきサロンを開催(月1回) (社会福祉協議会から補助金有り) ○独居高齢者等の見守り活動や声掛けなどは未実施 ○老人会はあるが、ほとんど機能していない(あまり入りたがらない)
馬見北3丁目	○高齢者の活動としては老人クラブのみであり、隣近所との関係は年々希薄になってきている
馬見北4丁目	○活動の開催回数は決まっておらず、今年はマッサージ教室を実施 ○60歳以上の参加者を募って親睦を深めるイベントを企画中
馬見北5丁目	○老人会を行っているが、参加者は比較的元気な人が多い ○声掛け、見守りの対象になる人の把握はできていない
馬見北6丁目	○老人会はあるが活動は低調 ○集会所でふれあい喫茶(月1回)や介護予防リーダーによる体操(月2回)を実施
馬見北7丁目	○未実施
馬見北9丁目	○りすさんサロン(カフェ)を民生委員が中心となって定期的に実施(「笑いヨガ」や「ラジオ体操」など) (高齢者を対象としたサロンではないが、結果的に参加者は高齢者に偏っている)
馬見中1丁目	○自治会だけでは高齢者の様子は把握できない ○長誠会(老人会)・フランドンス同好会を支援 ○70歳以上の方に年1回敬老祝品を贈呈(班長による確認含む)
馬見中2丁目	○未実施
馬見中3丁目	○未実施(老人会もなく、役員会で議題にあがったこともない)
馬見中5丁目	○隣近所との関係が希薄であり、高齢者の現状を十分把握できていない

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 5</li> <li>■ 行政 5</li> <li>■ NPOなど 0</li> <li>■ その他 2</li> </ul>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b></p> <p>○自治会は潜在的なエネルギーを持っている。それを引き出していくための情報が必要である。今後はサークル活動を増やしていきたい。</p> <p>○見守り、声掛けは、顔を分かっているという意味で身近な人がよい。</p> <p><b>「行政」を選択した理由</b></p> <p>○自治会を越えた協働があればいいが、どうしていいかわからないので、行政になんとかしてほしい。</p> <p>○地域全体が老老介護状態に向かっているなか、精力的な活動が困難であるため。</p> <p>○高齢者の把握など個人情報の取り扱いも絡むことから、行政が中心となって取り組むことが望ましいため。</p> <p>○自治会が住民の家族構成まで把握できていないため、主体的に取り組むのが困難であるため。</p>
協働の必要性	
 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ある 11</li> <li>■ ない 1</li> </ul>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 4</li> <li>■ 行政 6</li> <li>■ NPOなど 4</li> <li>■ その他 2</li> </ul>	<p><b>「その他」を選択した理由</b></p> <p>○福祉の問題は突き詰めると家の中の話になるので、行政も自治会も中心的に取り組むのは難しい。しかし、協働できることは行政と自治会も一緒になって協力したい。</p> <p>○比較的若い地区のため、現在、高齢者対策の必要性は低いと思われるが、今後、高齢化が進めば活発になっていくかもしれない。その際には、自主的にやりたいという人がするのが良いと思う。</p>

高齢者などを対象とした福祉活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」及び「行政」が同数となっており、次いで「その他」となっている。「その他」では、「家族」や「新しい組織」があげられている。

協働の必要性は「ある」が多く、92%が選んでいる。

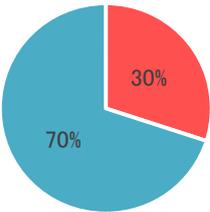
協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」及び「NPO など」が同数、「その他」の順となっている。「その他」では、「民生委員」や「有志」があげられている。

■自由意見
<p>○独居高齢者等の情報をどうやって集めたらいいかわからない。</p> <p>○空き家が増えてきている。若い人が入ってこない。家賃等の補助があればいいのだが。</p> <p>○火事の心配がある。安否確認をどうすればいいのか。</p> <p>○要支援者の情報が非公開となっているが、有事の際それでいいのか。民生委員だけで本当に機能するのか。</p> <p>○以前は町から介護保険や体操などの講座があった。</p> <p>○町から各自治会を回ってイベントなどを開く予定はないのか。</p> <p>○高齢者の中には近所付き合いを煩わしく思う人がいる。自治会としては、何かあってはいけないので放っておけない。どのように交流を持ってもらうのが課題である。</p> <p>○ガイドラインを行政で決めてもらわないと動けない。</p> <p>○自主的な活動を自治会館でもらいたい。</p> <p>○民生委員さんが地区に1人だと聞いている。災害時などにご近所の方が避難などの援助をしてくれればよいが、自治会としても把握しておきたい。</p> <p>○活動の方向性として、広陵町での統一したものが示されている方が良いのではないかと。そうしないと、各自治会が中心的に何でもやっていると、町としてバラバラではないか。また、なんでも自治会となると負担が多い。</p> <p>○町内で活動されているNPOの一覧を提示してほしい。</p>

⑥ 地域での子どもを対象とした活動(子ども同士や地域住民との交流の場・学習の場の提供など)に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見北1丁目	○子ども会は休止中 ○地域の子どもの交流の場として、ビデオ鑑賞会などを実施(年数回)
馬見北2丁目	○地域で子どもが少なく、子ども会はない
馬見北3丁目	○夏祭りを実施
馬見北4丁目	○子ども会がイベントを実施(年1回) (年々子どもの人数が減ってきており、規模が小さくなっている)
馬見北5丁目	○地域のソフトボール部(ファイバーズ)と子ども会の年末の餅つき大会を実施 (子どもの数の減少、三世帯同居が増えたように思う)
馬見北6丁目	○子ども会は数年前に廃止
馬見北7丁目	○夏祭りやとんどを実施
馬見北9丁目	○ピンゴゲーム大会を実施 ○老人クラブによる絵本読み聞かせ、絵本シアターの実施
馬見中1丁目	○子ども会はないが、年1回の夏祭りは継続実施
馬見中2丁目	○子ども会はないが、年1回子どもも楽しめる秋祭りを自治会で実施
馬見中3丁目	○子ども会はなく、地域の子どもの対象とした活動もない。
馬見中5丁目	○子ども会はない(子ども会の設立については、自治会発足時に議論を行ったが、自治会内の子どもの人数が少ないなどの理由により設置を見送った)

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 3</li> <li>■ 行政 4</li> <li>■ NPOなど 1</li> <li>■ その他 2</li> <li>■ 未選択 2</li> </ul>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b> ○自治会の問題ではあるが、社会福祉協議会などの仕掛け作りも大切だと考える。</p> <p><b>「行政」を選択した理由</b> ○年齢の違う子どもの交流の場がない。 ○子どもが対象なので、ある程度専門知識を持った人がよい。</p> <p><b>「NPO など」を選択した理由</b> ○子ども会がないため、NPO、行政が中心となって、そのような地域の子どもを受け入れてほしい。</p> <p><b>「その他」を選択した理由</b> ○子どもを対象とした取り組みは、自治会で活動するより学校行事として実施してほしい。最近の児童は習い事などがあり、親も含めてなかなか自治会活動に参加することが難しい。自治会の活動となると参加率が低い、学校行事となれば自ずと参加しなければならない。その方が子ども達も喜ぶと思うし効果的である。</p>
協働の必要性	
<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ある 10</li> <li>■ ない 2</li> </ul>	

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 3</li> <li>■ 行政 7</li> <li>■ NPOなど 0</li> <li>■ その他 0</li> </ul>	<p><b>未選択の理由</b></p> <p>○そもそも子どもの数が少なく、子どもを対象とした活動の需要が少ないため。ビンゴゲーム大会も帰省しているお孫さんなどの参加が多数を占める。</p> <p>○現時点ではそういったものの必要性や希望もない。</p>

地域での子どもを対象とした活動に関して、中心的に取り組むべき団体は「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

協働の必要性は「ある」が多く、83%が選んでいる。

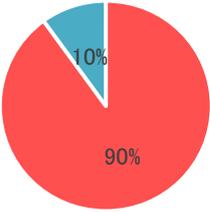
協働すべき団体は、「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」となっている。

■ 自由意見
<p>○自治会を超えた大きな枠組みで、子ども会を作ってみてはどうか。</p> <p>○自治会単位ではなく、学校区単位で何かできないか。</p> <p>○同学年以外の子どもの交流ができない。</p> <p>○自治会ではできることが限られている。</p> <p>○町にスポーツ少年団ほどこちんとした団体ではない気軽に参加できる体操教室やサッカー教室などのイベントを企画してもらいたい。</p> <p>○イベントの告知・周知ができていない。</p> <p>○子ども会は、少子化に伴って、神輿担ぎなどのイベントができなくなり、役員のなり手がいなくなって解散したと聞いている。</p> <p>○子ども会のない地域で、NPOが中心となって、子ども同士の集まりなどの企画があればよい。</p> <p>○子ども会がないので、自治会と子どもの関係が希薄。</p> <p>○自治会活動ではないが、集会所の使用料金を払ってダンスの練習をしている子どもがいる。</p> <p>○学童野球は体育協会が取りまとめ、サッカーはスポーツ少年団が取りまとめている。</p> <p>○子ども会加入が年々少なくなり、解散となってしまった。畿央大学の子育て支援イベントの参加率が高い。親の負担が大きくお得感がないので加入に繋がらない。</p> <p>○子ども会もきちんと設立して活動していくべきだと思うが、役員も1年交替となっており現状は難しい。NPOなどと協力するののも一つの手段かもしれない。</p>

⑦ まちづくりの方向性に関する考え方

■地域活動の現状	
馬見北1丁目	○特になし
馬見北2丁目	○特になし
馬見北3丁目	○特になし
馬見北4丁目	○役員が毎年替わるので、方向性が定まらず、継続性がない ○毎年、今までの踏襲で終わってしまっており、規模も小さくなってきている ○自治会の規約なども全て把握している役員はいない
馬見北5丁目	○イベント活動をすることで顔見知りを作っていく
馬見北6丁目	○役員が毎年替わるので継続しての検討・協議が困難 ○少子高齢化によって行事が減るばかりで住民同士のつながりやコミュニティが希薄になってきている
馬見北7丁目	○特になし
馬見北9丁目	○特になし
馬見中1丁目	○自治会内でも地区間世代ギャップがありそれぞれのニーズが異なっているため、町のリーダーシップに期待
馬見中2丁目	○特になし
馬見中3丁目	○自治会の意見を行政に伝えている
馬見中5丁目	○自治会としては、前年と同様の行事を行うことで手一杯であり、将来的な取り組みまでは、検討できていない。しかし、新しい取り組みについて、自治会内で検討していく必要性は承知している。

■活動の実施に対する考え方	
中心的に取り組むべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
<p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自治会 1</li> <li>行政 11</li> <li>NPOなど 0</li> <li>その他 0</li> </ul> </p>	<p><b>「自治会」を選択した理由</b></p> <p>○こんな活動をしていますよといった、情報交換が必要。</p> <p><b>「行政」を選択した理由</b></p> <p>○大きな枠組みでの方向性や方針を行政が作り、ローカルな話を自治会でしていくべき。</p>
<p>協働の必要性</p> <p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ある 10</li> <li>ない 2</li> </ul> </p>	<p>○具体的な計画などがあるので、区・自治会が口出しするものではない。行政がまとめればいい。</p> <p>○役員も仕事をしている人もいるので時間がとれない人もいる。</p> <p>○行政で対応してもらいたい。</p> <p>○こんな活動をしていますよといった、情報交換が必要。</p> <p>○役員が1交代なので、自治会主導で考えることは難しい。</p>

協働すべき団体	中心的に取り組むべき団体を選択した理由
 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自治会 9</li> <li>■ 行政 1</li> <li>■ NPOなど 0</li> <li>■ その他 0</li> </ul>	<p><b>「行政」を選択した理由</b></p> <p>○これからの検討課題であるため、現在は未定。</p> <p>○このような状況から、住民の意思を反映するために、区・自治会の協働は必要である。</p> <p>○行政が中心となって自治会間の横のつながりを作ってほしい。</p> <p>○住民主導が理想的であるが、行政主導で自治会が協力する取り組みとする方が、円滑に進めることができるため。</p>

まちづくりの方向性に関して、中心的に取り組むべき団体は「行政」が最も多く選ばれており、次いで「自治会」となっている。

協働の必要性は「ある」が多く、83%が選んでいる。

協働すべき団体は、「自治会」が最も多く選ばれており、次いで「行政」となっている。

■ 自由意見
<p>○子ども会など活動が盛んな地域にあこがれがある。</p> <p>○小さな方向性は自治会で決めて、大きな方向性は町で決めてもらいたい。</p> <p>○在来地区と真美ヶ丘地区がもっと交流できればいい</p> <p>○イベント等を企画する際にどこまでが町の補助金の対象になるのかわからない。</p> <p>○みんなが顔見知りであれば、部外者が来るとすぐわかるのでよい。</p> <p>○役場の人との距離が近い。こうした場で話が聞けることで何でも聞きやすい。</p> <p>○各活動を報告し合う様な場があればよい。</p> <p>○自治会ごとの広報紙など、町のHPIに自治会活動を掲載してほしい。</p> <p>○情報発信のための相談をできる場所はないのか。(HPの作り方など)</p> <p>○今回のヒアリングで町は最終的にどうしたいのか。</p> <p>○校区ごとに分けることで今と何が変わるのか。</p> <p>○進め方が行政の押しつけで、トップダウン方式ではないか。</p> <p>○自治会の組織が大きくなると運営が大変なのでもう少しコンパクトにしてもらいたい。</p> <p>○防災訓練以外でも真美ヶ丘第二小学校校区の自治会で集まれる機会があれば横のつながりができて良いと思う。</p> <p>○行政の方が、年齢構成やその他様々な校正分布など、統計、分析を行い、町全体の状況を把握していると思うので、それを反映させたまちづくりをしてもらえればと思う。</p>